

「英語コミュニケーションⅠ」シラバス

科目名	英語コミュニケーションⅠ	単位数	2単位
学 科	熱帯資源科 園芸科学科 食品科学科 造園科 福祉科	学年	1年
使用教科書	VISTA English communicationⅠ（三省堂）	副教材	—

1 「英語コミュニケーションⅠ」とはこんな科目です（科目の概要と到達目標）

この科目は、日常的な話題について、聞いたことや読んだことを理解し、情報や考えなどを英語で話したり書いたりして伝える基本的な能力を養うとともに、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育てる科目です。

2 「英語コミュニケーションⅠ」の評価

評価は、「知識・技能（技術）」「思考・判断・表現力」「主体的に学習に取り組む態度」（3観点）をA：十分満足できる、B：おおむね満足できる、C：努力を要する、で表します。さらに、3観点を次の割合で点数化し、5段階評価を行います。

評価の観点	知識・技能(技術)	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
比重	1	1	1
評価方法	定期テスト・小テスト ワークシート	定期テスト・小テスト ワークシート	課題の提出・ワークシート・ 振り返り・授業態度・発表

学習目標

- ①英語を聞いて、情報や話し手の意向などを理解したり、概要や要点をとらえたりすることができる。
- ②英語を読んで、情報や書き手の意向などを理解したり、概要や要点をとらえたりすることができる。
- ③聞いたり読んだりして得た情報や自分の考えについて、話し合ったり意見の交換をしたりすることができる。
- ④聞いたり読んだりして得た情報や自分の考えなどについて、整理して書くことができる。

英語科シラバス

教科	学科	学年	単位数	科目	使用教科書
外国語	熱帯資源科	2年	2	コミュニケーション英語 I	VISTA 三省堂
	園芸科学科				
	食品科学科				
	造園科				
	福祉科				

1. 学習の到達目標

日常的な話題について、聞いたことや読んだことを理解し、情報や考えなどを英語で話したり書いたりして伝える基本的な能力を養うとともに、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育てる。

- ① 英語を聞いて、情報や話し手の意向などを理解したり、概要や要点をとらえたりする。
- ② 英語を読んで、情報や書き手の意向などを理解したり、概要や要点をとらえたりする。
- ③ 聞いたり読んだりして得た情報や自分の考えについて、話し合ったり意見の交換をしたりする。
- ④ 聞いたり読んだりして得た情報や自分の考えなどについて、整理して書く。

2. 評価の観点及びその趣旨

a. 関心・意欲・態度	b. 表現の能力	c. 理解の能力	d. 知識・理解
コミュニケーションに関心を持ち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとする。	日常的な話題について、情報や考えなど伝えたいことを英語で話したり、書いたりして表現する。	日常的な話題について、英語を聞いたり読んだりして、情報や考えなどを相手が伝えようとすることを理解する。	日常的な話題について英語の学習を通して、言語やその運用についての知識を身に付けるとともに、その背景にある文化などを理解している。

3. 学習計画及び評価方法

学期	月	学習内容	配当時間	学習のねらい及び評価規準	関心・意欲・態度	表現の能力	理解の能力	知識・理解
1学期		オリエンテーション	1	科目の授業内容について理解する。	○			○
	4月	Lesson 6 Toothbrushing in Edo	13	・江戸時代の生活習慣(歯磨き)について学ぶ	○		○	○
	5月 6月 7月			・動名詞を正確に表現することができる。			○	○
		Lesson 7 Machu Picchu	14	・世界遺産であるマチュ・ピチュとその文化、また複合遺産に指定されている理由について学ぶ。	○			○
				現在完了 have (has) + 過去分詞を用いて、①完了(結果)、②経験、③継続の表現ができる。・動名詞を正確に使って書くことができる。		○	○	
1学期の評価方法				<評価方法> ①定期考査の成績 ②単語テスト ③本読みテスト ④授業への取り組みの様子 ⑤課題の提出状況				

2 学 期	9月 10月 11月 12月	Lesson 8 Motala and Landmines	14	タイの1頭のアジア象が、人間のつ くった地雷によって犠牲になった様 子を知る。	○			○
				受け身表現(現在形、過去形)につ いて学ぶ。受け身の否定文や疑問 文の表現ができる。			○	○
	Lesson 9 Dick Bruna	14	「ミッフィー」を生み出したディック・ ブルーナについて知り、慈善団体 への参加がどのような結果をもた らしているのかを学習する。	○			○	
			関係代名詞[who, which]の用法に ついて学習する。関係代名詞を用 いた表現ができる。			○	○	
2学期の評価方法				<評価方法> ①定期考査の成績 ②単語テスト ③本読みテスト ④授業への取り組みの様子 ⑤課題の提出状況				
3 学 期	1月 2月 3月	Lesson 10 Tsuji, the Great Pianist	14	2009年に国際ピアノコンクールで 優勝した辻井伸行氏について学 ぶ。困難を克服して目標に向かうこ との大切さを知る。	○			○
				関係副詞[where, when]の用法に ついて学習する。形式主語 it の用 法について学ぶ。It is ~ to ... の 表現ができる。			○	○
	3学期の評価方法				<評価方法> ①定期考査の成績 ②単語テスト ③本読みテスト ④授業への取り組みの様子 ⑤課題の提出状況			
1年間の反省			1	1年を振り返り、自らの課題を考え、次年度へ向けて目標を立てる。				

英語科シラバス

英語会話

沖縄県立中部農林高等学校

教科	学科	学年	単位数	科目	使用教科書
外国語	熱帯資源科	3年	3	英語会話	SELECT English Conversation 三省堂
	園芸科学科				
	食品科学科				
	造園科				
	福祉科				

1. 学習の到達目標

日常的な話題について、英語を聞いたり、話したりして、情報や考えなどを理解し、伝える基礎的な能力を養うとともに、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育てる。

- ① 英語を聞いて、情報や話し手の意向などを理解したり、概要や要点をとらえたりする。
- ② 英語を読んで、情報や書き手の意向などを理解したり、概要や要点をとらえたりする。
- ③ 聞いたり読んだりして得た情報や自分の考えなどについて、話し合ったり意見の交換をしたりする。
- ④ 聞いたり読んだりして得た情報や自分の考えなどについて、整理して書く。

2. 評価の観点及びその趣旨

a. 関心・意欲・態度	b. 表現の能力	c. 理解の能力	d. 知識・理解
コミュニケーションに関心をもち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとする。	日常的な話題について、情報や考えなど伝えたいことを英語で話したり、書いて表現する。	日常的な話題について、英語を聞いたり読んだりして、情報や考えなどを相手が伝えようとすることを理解する。	日常的な話題について英語の学習を通し、言語についての知識を身に付けるとともに、その背景にある文化等を理解している。

3. 学習計画及び評価方法

学期	月	学習内容	配当時間	学習のねらい及び評価規準	関心・意欲・態度	表現の能力	理解の能力	知識・理解	評価の方法	
一学期	四月	オリエンテーション	1	・科目の授業内容について理解する。	○	○			・授業態度	
				・年間の授業計画に沿って学習計画を立てる。	○		○			
		Lesson 1 New Friends	7	・疑問詞で始まる疑問文は、文尾を下げたイントネーションで発話することができる。			○			・授業態度 ・発問評価 ・課題などの提出状況 ・評価問題 ・コミュニケーションテスト ・定期考査
				・出身地はどこかたずね、答える表現を使うことができる。	○	○	○	○		
・入りたいクラブを尋ね、答える表現を使うことができる。	○	○	○	○						
・趣味は何かを尋ね、答える表現の意味を使うことができる。	○	○	○	○						

二 学 期	五 月	Lesson 2 Free Time	7	・tennis, shopping, weekendは、第1音節を強く発音することができる。		○		○	・授業態度 ・発問評価 ・課題などの提出状況 ・評価問題 ・コミュニケーションテスト ・定期考査
				・again, before, repeatは、第2音節を強く発音することができる。		○		○	
				・Saturday, usually, beautifulは、第1音節を強く発音することができる。		○		○	
				・通常の休日の過ごし方を尋ね、答える表現を使うことができる。	○	○	○	○	
				・過去の休日の過ごし方をたずね、答える表現の意味を使うことができる。	○	○	○	○	
				・休日の過ごし方の予定を尋ね、答える表現の意味を使うことができる。	○	○	○	○	
	六 月	Lesson 3 Are you Okay?	8	・あいさつの表現であるHow are you?を使うことができる。	○	○		○	・授業態度 ・発問評価 ・課題などの提出状況 ・評価問題 ・コミュニケーションテスト ・定期考査
				・体調をたずねる表現Are you okay?を使うことができる。	○	○		○	
				・体調を答える表現(I'm not feeling well. I have a ~. I feel ~.)を使うことができる。	○	○		○	
				・相手の体調が悪いことを同情し、アドバイスをする表現That's too bad. You should ~.を使うことができる。	○	○	○	○	
	七 月	Lesson 4 Our School	8	・文の中で強く発音された単語は、その文の意味を理解するのに重要であることを理解し使うことができる。			○	○	・授業態度 ・発問評価 ・課題などの提出状況 ・評価問題 ・コミュニケーションテスト ・定期考査
				・学校の大きさをたずね、答える表現を使うことができる。	○	○	○	○	
・学校の特徴(有名なもの、こと)をたずね、答える表現の意味を使うことができる。				○	○	○	○		
・行事日程をたずね、答える表現の意味を使うことができる。				○	○	○	○		
九 月	Lesson 5 Weather	7	・天気予報の表現で、文の区切りに注意するところを見極め、使うことができる。			○	○	・授業態度 ・発問評価 ・課題などの提出状況 ・評価問題 ・コミュニケーションテスト ・定期考査	
			・今日の天気をたずねる表現を使うことができる。	○	○		○		
			・今日の天気を答える表現を使うことができる。	○	○	○	○		
			・明日の天気予報をたずねる表現を使うことができる。	○	○		○		
			・明日の天気予報を答える表現を使うことができる。	○	○	○	○		
			・今の季節の気候をたずねる表現を使うことができる。	○	○		○		
			・今の季節の気候を答える表現を知っている。	○	○		○		

十月	Lesson 6 TV Programs	8	・Do you ～で始まる疑問文は、文尾を上げたイントネーションで発話することができる。		○		○	・授業態度 ・発問評価 ・課題などの提出状況 ・評価問題 ・コミュニケーションテスト ・定期考査
			・あるもの(こと、人)が好きかどうかをたずね、答える表現を使うことができる。	○	○	○	○	
			・好きなもの(こと)の種類をたずね、答える表現の意味を使うことができる。	○	○	○	○	
十一月	Lesson 7 Talking on a Cell Phone	8	・Mayを使った、相手が今話せるかどうか尋ねる表現を使うことができる。	○	○	○	○	・授業態度 ・発問評価 ・課題などの提出状況 ・評価問題 ・コミュニケーションテスト ・定期考査
			・Sorry, ～を使った「話せない」という回答とその理由を言う表現を使うことができる。	○	○		○	
			・Canを使った相手が時間通りに来られるかを尋ねる表現を使うことができる。	○	○		○	
			・時間通りに来られる、または遅れるという表現を使うことができる。	○	○		○	
			・相手がemailを読んだかどうかたずねる完了形を使った表現を使うことができる。	○	○		○	
・emailを読んだかどうかを答える完了形を使った表現を使うことができる。	○	○	○	○				
十二月	Lesson 8 Telling the Way	7	・道案内の表現で、強く発音するところ、音がつながるところを認識することができる。		○		○	・授業態度 ・発問評価 ・課題などの提出状況 ・評価問題 ・コミュニケーションテスト ・定期考査
			・知らない人に話しかけるときのExcuse meという表現を使うことができる。		○		○	
			・Whereや、Could you tell me the way to～で道を尋ねる表現を使うことができる。	○	○		○	
			・go straight, turnなど、道を教える表現を使うことができる。		○	○	○	
・on your right, next to, on the corner of など、場所を言う表現の意味を使うことができる。		○		○				
三 学 期	一月 二月	8	・買い物の表現で、強く発音するところ、イントネーションに注意するところを使うことができる。		○		○	・授業態度 ・発問評価 ・課題などの提出状況 ・評価問題 ・コミュニケーションテスト ・定期考査
			・客に最初に挨拶する表現を使うことができる。		○		○	
			・欲しいものを伝える表現を使うことができる。	○	○		○	
			・欲しいサイズを伝える表現を使うことができる。	○	○		○	
			・欲しい色を伝える表現を使うことができる。	○	○	○	○	
	・値段に関する表現を使うことができる。	○	○		○			
・別な安い物を見せてもらったり、進めたりする表現を使うことができる。	○	○		○				
	一年間の反省	1	・一年を振り返り、自らの課題を考え、次年度へ向けて目標を立てる。	○	○			・授業態度

英語科シラバス

教科	学科	学年	単位数	科目	使用準教科書
外国語	熱帯資源科	2年	2	英語表現 I (選択)	高校英語の基礎
	園芸科学科				
	食品科学科				
	造園科				
	福祉科				

1. 学習の到達目標

基本的な文法事項を学習し、受験や資格取得につながるようにする

2. 評価の観点及びその趣旨

a. 関心・意欲・態度	b. 表現の能力	c. 理解の能力	d. 知識・理解
コミュニケーションに関心を持ち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとする。	日常的话题について、情報や考えなどを伝えたいことを英語で話したり、書いたりして表現する。	日常的话题について、英語を聞いたり読んだりして、情報や考えなどを相手が伝えようとすることを理解する。	日常的话题について英語の学習を通して、言語やその運用についての知識を身に付けるとともに、その背景にある文化などを理解している。

3. 学習計画及び評価方法

学期	月	学習内容	配当時間	学習のねらい及び評価規準	関心・意欲・態度	表現の能力	理解の能力	知識・理解	評価の方法
1 学期	4	オリエンテーション	1	・科目の授業内容について理解する。	○	○			・授業態度
				・年間の授業計画に沿って学習計画を立てる。	○		○		
		文の種類(1)	3	肯定文・否定文・疑問文		○		○	・授業態度 ・発問評価
		文の種類(2)	2	命令文・感嘆文・付加疑問文	○				
	名詞・冠詞	2	可算名詞、不可算名詞、複数形の作り方	○	○	○			
	5	代名詞	2	人称代名詞、指示代名詞、不定代名詞	○		○	○	・授業態度 ・発問評価 ・課題などの提出状況 ・評価問題
形容詞		4	・性質・様子を述べる形容詞 ・数・量を表す形容詞の使い方 ・名詞につくいろいろな言葉と語順	○		○	○		

6	副詞	2	・副詞の使い方と位置 ・形と意味について注意しなければならない副詞	○		○	○	・授業態度 ・発問評価 ・課題などの提出状況 ・評価問題	
	動詞	4	現在時制、過去時制、未来時制	○		○	○		
	助動詞	2	・助動詞の位置 ・助動詞を含んだ否定文、疑問文 ・助動詞mustで始まる疑問文	○	○		○		
7	確認しよう ①	4	1学期に習った文法事項の復習				○	・授業態度 ・定期考査	
一学期の評価方法			〈評価の対象〉 ①定期考査の成績 ②各課の評価問題の成績 ③授業への取り組みの様子 ④課題の提出状況と解答内容 ⑤授業時間内に行うコミュニケーション・テストの実施状況						
2 学期	9	現在完了	4	現在完了のもつ〈完了〉、〈経験〉、〈継続〉、〈結果〉の使い方	○		○	○	・授業態度 ・発問評価 ・課題などの提出状況 ・評価問題
		進行形	3	・現在進行形、過去進行形 ・進行形の否定文、疑問文	○		○	○	
	10	比較	3	・比較の規則変化と不規則変化 ・比較級の作り方	○		○	○	・授業態度 ・発問評価 ・課題などの提出状況 ・評価問題
		態	4	・能動態と受動態 ・受動態の否定文と疑問文 ・by以外の前置詞を使う受動態	○		○	○	
		不定詞	3	・名詞的用法 ・形容して起用法 ・副詞的用法	○	○		○	
	11	動名詞	4	・動名詞の作り方とその働き ・動名詞のみを目的語にとる動詞 ・不定詞のみを目的語にとる動詞 ・動名詞、不定詞の両方を目的語にとる動詞	○		○	○	・授業態度 ・発問評価 ・課題などの提出状況 ・評価問題
		分詞	4	・現在分詞と過去分詞の使い方 ・分詞の形容詞的用法	○	○		○	
12	確認しよう ②	5	2学期に習った文法事項の復習			○	○	・授業態度 ・定期考査	
二学期の評価方法			〈評価の対象〉 ①定期考査の成績 ②各課の評価問題の成績 ③授業への取り組みの様子 ④課題の提出状況と解答内容 ⑤授業時間内に行うコミュニケーション・テストの実施状況						
3 学期	1	関係代名詞(1)	5	先行詞が人の場合 who/whose/whomの使い方			○	○	・授業態度 ・発問評価
	2	関係代名詞(2)	5	先行詞が物や動物の場合 which/whose/whichの使い方	○		○	○	・授業態度 ・発問評価 ・課題の提出状況
	3	確認しよう ③	4	3学期に習った文法事項の復習	○	○		○	・評価問題 ・定期考査
三学期の評価方法			〈評価の対象〉 ①定期考査の成績 ②各課の評価問題の成績 ③授業への取り組みの様子 ④課題の提出状況と解答内容 ⑤授業時間内に行うコミュニケーション・テストの実施状況						

学習の計画(どのような内容をどの時期に学ぶのか)

学期	月	学習内容	配当時間	学習のねらい及び評価規準	関心・意欲・態度	表現の能力	理解の能力	知識・理解	
1学期		オリエンテーション	1	科目の授業内容について理解する。	○			○	
	4 5 6 7月	Lesson 1 Colors of Spring	13	・世界と日本の日常生活、風俗習慣 /学校生活	○		○	○	
				be 動詞や一般動詞の現在形			○	○	
		Lesson 2 Dick Bruna	14	・芸術、社会/学校生活	○			○	
				be 動詞や一般動詞の過去形		○	○		
	1学期の評価方法				〈評価方法〉 ①定期考査の成績 ②単語テスト ③本読みテスト ④授業への取り組みの様子 ⑤課題の提出状況				
2学期	9 10 11月	Lesson 3 Interesting Sports	14	・スポーツ/学校生活・地域での活動	○			○	
				現在進行形・過去進行形		○	○		
	12月	Lesson 4 Pictograms	14	・社会・日常生活・芸術/地域社会	○			○	
				助動詞・動名詞		○		○	
	2学期の評価方法				〈評価方法〉 ①定期考査の成績 ②単語テスト ③本読みテスト ④授業への取り組みの様子 ⑤課題の提出状況				
3学期	1 2 3月	Lesson 5 We Are Part of Nature	14	・自然・人間/インタビュー、地域活動	○			○	
				不定詞		○	○		
	3学期の評価方法				〈評価方法〉 ①定期考査の成績 ②単語テスト ③本読みテスト ④授業への取り組みの様子 ⑤課題の提出状況				
	1年間の反省			1	1年を振り返り、自らの課題を考え、次年度へ向けて目標を立てる。				